

地域協力活動における「課題」一覧表 第2期鹿追町まち・ひと・しごと創生総合戦略より抜粋

戦略	分野	課題
1	学校教育	<p>児童や生徒の個性を尊重し、個々の特性を伸ばす教育のためには、まず他者との違いを認め、さらには価値観の相違もお互いに受け入れる教育が重要です。</p> <p>「言われたことを、言われたようにする」教育からは生み出すことのできない力として「探求する学習」をいかに展開するかが求められています。</p>
2	農業（経営・基盤整備）	<p>基盤整備事業により生産性や品質向上など効果が出ていますが、未整備農地や施設の老朽化により機能が低下している圃場が多いため、基盤整備事業を計画的に実施する必要があります。</p>
3	農業（安心・安全な農業）	<p>環境保全農業の取り組みの強化や、GAP（農業生産工程管理）などの取り組みが求められています。また、町内で地場農畜産物などを食べられる機会が求められています。</p>
4	農業（持続可能な農業）	<p>飼養頭数の増加に伴い、家畜ふん尿処理に係る作業量などが増加していることから、新たなバイオガスプラントの整備や、さらなる有効活用が求められています。</p>
5	商工業	<p>町内農畜産物などを原料とした地場産品の販売促進を図るため、新たな商品・サービスの開発を進めるとともに、地域内外への積極的な発信と事業者のプロモーション活動への取り組みが必要です。</p> <p>近隣市町や通販への消費流出、併せて高齢化・後継者不在、人材確保難などを解決し、町内企業の経営の安定、資金調達の円滑化などへの取り組みが必要です。</p>
6	エネルギー	<p>電気や熱のほか新たな再生可能エネルギーの有効活用が必要です。</p>
7	学校教育	<p>児童や生徒の個性を尊重し、個々の特性を伸ばす教育のためには、まず他者との違いを認め、さらには価値観の相違もお互いに受け入れる教育が重要です。</p>
8	観光	<p>グリーンシーズン以外の閑散期に観光客を誘導し、観光シーズンの平準化を図ることが必要です。</p> <p>国立公園エリアでも農村・市街地エリアと同様に地産地消食材を提供できる環境整備と事業の展開が必要です。</p> <p>観光客のニーズの変化に対応するため、相談やアドバイス、さらには予約機能を併せ持った総合的なインフォメーションサービス事業の展開が必要です。</p>

9	ジオパーク	より多くの町民と共にジオパーク活動を推進することが必要です。
10	花、公園	環境美化宣言に基づき、花と緑を取り入れた彩り豊かな美しいまちづくりのさらなる推進が必要です。
11	交流	異文化交流を通じて国際的感覚を身に付けることが重要です。
		人口減少や少子高齢化に対応するため、新たな交流や関係人口の拡大が必要とされています。
12	行政運営	交通手段や生活圏の変化により広域行政の連携強化が必要です。
13	子育て支援	妊娠・子育てに関する経済的負担の軽減や、相談体制を充実することにより、安心して子育てができる環境を整えることが重要です。
14	高齢者福祉	高齢者が可能な限り住み慣れた地域でそれぞれの能力に応じた自立した日常生活を過ごすことができるよう、住民主体の活動や関係機関の多様なサービス提供体制を取り入れ、医療、介護、予防、住まい、生活支援など多様な視点から高齢者を包括的に支援できる体制づくりをより一層強化していくことが必要です。
		高齢者が要介護状態などとなることの予防や軽減、悪化防止につながるよう、高齢者が住み慣れた環境で生活できるよう支援していくことが必要です。
15	防災	災害予防、災害応急対策及び災害復旧の対策を実施するため、防災関係機関がその機能を十分発揮できるよう万全の体制が必要です。
16	情報通信	日進月歩の情報化の進展を注視し、高速通信網の整備に関する新技術や事業の情報収集に努め、住民生活の向上や産業発展のため、情報通信環境の高度化について関係機関や民間事業者の協力が得られるよう、引き続き取り組む必要があります。
17	コミュニティ	各種審議会などへの町民参加がしやすい環境が求められています。
		行政からの情報を得る機会の拡大が求められています。
		協働のまちづくりを進めるうえで町内会活動などの活性化が求められています。